

●事例紹介●

京大桂ベンチャープラザについて

夏目 ゆかり

(独立行政法人中小企業基盤整備機構近畿支部京大桂ベンチャープラザ)

京大桂ベンチャープラザは、独立行政法人中小企業基盤整備機構において、平成一六年夏にオープンしたビジネス・インキュベーション施設です。当プラザの役割や制度内容についてご紹介をさせていただきます。

インキュベーション (Incubation) とは、英語で「孵化」を意味します。つまり、「起業家の卵たちが独り立ちできるような経営・技術等の支援を行う」施設のことです。単純に貸し部屋を提供するのみでなく、インキュベーション・マネージャーと呼ばれるスタッフが施設に常駐し、様々な面で入居者を支援します。

現在全国に、三〇〇を超えるインキュベーション施設が存在しますが、京大桂ベンチャープラザは「大学発の技術シーズの産業化」を目的として設立された、大学連携型の

インキュベーション施設です。

当プラザの入居対象は、起業を目指す大学の研究者や学生、また大学と連携して研究開発を行う企業です。京都大学だけでなく、全国の様々な大学と連携する企業が集まっています。現在、約二〇社の企業が入居し、新たなビジネス創出に向け、日々積極的な取組を行っているところです。また、入居企業同士が交流する中で取引や新たな事業が生まれることもあります。

また、当プラザは、京都大学の桂キャンパスに隣接している「桂イノベーションパーク」地区内に立地しています。この地区には当プラザのほか、独立行政法人科学技術振興機構 (JST) の研究成果活用プラザ京都が立地しており、さらに民間企業教社が本社もしくは研究所を設立すること

が決定しています。今後、産学交流が促進され、先端技術や新産業の集積地としてますます発展することが期待される地域です。

さらに、本年冬、当プラザ隣に新館 (南館) がオープンすることとなりました。現在一二月の竣工に向け建設中ですが、大企業や、国の補助金や委託事業を受けた大学の研究プロジェクトも入居可能となる予定です。これにより、ベンチャー・中小企業と大企業や大学との取引や連携が生まれ、新たな事業創出につながることを大いに期待しています。

これまで当プラザには、在学中に起業した学生が入居し、事業プランを確立させ卒業した事例があります。学生の皆さんの熱意と志をぜひともご提案いただければとスタッフ一同願っています。また、入居企業に対しては京都府、京都市から税制優遇措置や賃料補助制度があり、資金面でのサポートも充実しています。

もしご興味があれば、是非一度当プラザまでお立ち寄りください。いつでもお待ちしております。

また、何かご質問ございましたら、左記までお気軽にお問い合わせください。

(独立行政法人中小企業基盤整備機構 京大桂ベンチャープラザ 夏目 TEL 〇七五―三二八―二一〇六二)



京大桂ベンチャープラザ外観